

講座概要

【第1回】 国重要文化財追加指定記念 – 碓氷峠の交通史 –

講師：萩原豊彦 氏 (NPO 法人碓氷峠歴史文化遺産研究会理事長)

碓氷峠鉄道施設は、松井田町横川と軽井沢町を結ぶ鉄道施設の遺構です。交通の要衝で、難所でもある碓氷峠に鉄道を通す計画は、ドイツの山岳鉄道にならいアプト式鉄道を導入することで実現しました。その後、より速く、そしてより多くの人やモノを運べるよう、蒸気機関車から電気機関車へと転換し、最終的にアプト式鉄道は廃止となります。このような技術的変遷をふまえ、国重要文化財に追加指定された鉄道遺産を中心に、その歴史的価値や魅力について解説します。

【第2回】 国史跡指定記念 – 築瀬二子塚古墳の価値について考える –

講師：右島和夫 氏 (群馬県立歴史博物館長)

安中市で初めて国指定史跡となった築瀬二子塚古墳。市民の皆さんにとっては見慣れた風景かもしれませんが、いったい何が評価されたのでしょうか。関東で最も早く横穴式石室を採用した理由とは？安中は関東の玄関口にあたります。遠く畿内から碓氷峠を越え、最初に平野の広がりを目にする場所、それが安中市なのです。築瀬二子塚がこの地につくられたのは決して偶然ではなく必然だったのです。その理由は何か？背景を探ると、当時の安中市域の重要性が見えてきます。

【第3回】 新島襄ゆかりの人物伝

講師：淡路博和 氏 (安中市文化財調査委員)

新島襄は 13 歳の時に安中藩主板倉勝明の命令で蘭学を学び始め、21 歳の時に西洋の進んだ文化を学ぶために鎖国中の日本から脱国、アメリカへ渡ります。そして 31 歳で帰国後、大学教育とキリスト教の普及を精力的に行いました。安中は、襄が帰国後最初に講義を行った場所で、そこで感化された人々を中心に、後に安中教会が設立されます。このように、襄がふるさと安中で残した足跡と、ゆかりある人物たちの功績を学び、地域の誇る偉人たちについて知りましょう。

【第4回】 世界の中の安中

講師：熊倉浩靖 氏 (高崎商科大学特任教授)

新島襄、板倉勝明、碓氷の関所、妙義山…などなど、安中には世界に誇れるものがたくさんあります。普段“あたりまえ”にそこにあるものも、視点を変えてみると“特別”な地域の財産であることに気がきます。地域学という手法で安中を考えた時に、何が見えてくるのでしょうか。安中の特色とは？ふるさとの持つ魅力とは？実は身近にある“世界に誇れる安中”を見つけ、それをどう活かしていくか、皆さんとともに考える講座です。